

# 仏教保育

6  
June

伝えよう いのち 生命の尊さ ほどけの心

三歸依文  
斉唱



## 「第9回理事会・第7回運営審議委員会」報告

平成27年5月13日／大本山増上寺・増上寺会館



福井事業部長



荻野常任理事



高輪常任理事



高山常任理事



緑谷理事長



司会・五島事務局長



浦田副理事長



三浦副理事長



金子監事



麻布常任理事

5月13日(水)、大本山増上寺の増上寺会館において第9回理事会並びに第7回運営審議委員会が開催されました。司会・進行を司る五島事務局長が開催を告げ、緑谷理事長の主唱で三歸依文斉唱に続き、同理事長より「ご遠方よりご出席いただきありがとうございます。今朝、大きな地震がありました。仙台駅では修学旅行の生徒たちが足止めされているニュースが報じられ心配しましたが、幸い余震も津波の恐れもなく安堵しました。ところで、子育て支援新制度がスタートしました。待機児童対策に自治体は力を入れています。私は千葉県の市川市ですが、千葉県では待機児童の一番多い地域です。市には新しい施設を作る財源もありませんので、私企業にも呼びかけると共に、私ども私立幼稚園協会へも助成金を出すから0〜2歳児に保育室を提供して欲しいと積極的に働きかけています。ある意味では認定こども園に似た状況になりそうなおも思っています。そうした流れの中でどう対応していけばよいか、急務の課題とと思っています」と挨拶されました。

次いで同事務局長より理事会・運営



審議委員会の両会とも成立する旨、並びに会の進行手順を述べてから、定款第37条に則り緑谷理事長が議長に就任し、議事に入りました。

- 議事は
- (1) 平成26年度事業報告
  - (2) 平成26年度収支決算・監査報告
  - (3) その他

第1号議案「平成26年度事業報告」については、はじめに高山久照総務担当常任理事から所管する1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展



**吉岡棟憲先生のご挨拶**

配布された次期開催の「第34回全国仏教保育福島大会」企画書(案)の概要説明のあと、「故・上村映雄理事長からの懇請を受け、小さい組織であり金銭的にもゆとりはありませんが、一丸となって準備を進めています。ここに示しました企

開 6. 関係団体との連絡提携 8. 国際交流、社会貢献の実践 9. 奨励事業、等について配布資料の記載に従って報告しました。

続いて、高輪真澄研究担当常任理事から所管する2. 調査研究 3. 現職教育 4. 指導者養成について別紙資料記載に基づいて報告しました。

次いで、福井徹人事業部長から所管する5. 編集・刊行について、機関紙『仏教保育』『月刊・仏教保育カリキュラム』はじめ、『ほとけの子』『このものくに』など、編集・刊行

の経緯を資料に添って報告しました。

7. 保育制度対策の活動強化については、所管する荻野順雄保育対策担当常任理事から、仏教保育振興国会議員懇話会との連携の現状はじめ、1月20日に開催したザ・プリンスタワー東京においての新年懇親会で仏教保育振興強化への連携を深めたことなどについて報告し、最後に五島事務局長より、10. その他必要な事業 並びに ◇会議について、資料に記載された通り実施した旨、報告がありました。



画書は、福島支部で取り敢えず作成した「たたきだい」であります。皆様方のご意見を反映させていただきながら、小さいながらも最善の努力で取り組む覚悟です。諸先生の絶大なご協力・ご支援をお願い致します。ぜひ被災地・福島で生命尊重の保育を皆様と共に学んでいただきたいと願って、スタッフ一丸となって準備に取り組んでいきます。

**日野昭文先生のご挨拶**

昨年7月に開催した「第33回

第2号議案「平成26年度収支決算・監査報告」については、収支決算は財務担当の麻布恒子常任理事から詳細説明が行われ、監査報告については金子聡秀監事より実施した

監査項目、業務監査並びに会計監査の結果、貸借対照表は正味財産増減計算書、財産目録及び付属明細書等は法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものであると認めたと、報告されました。

いずれの上程議案も6月1日に開催する社員総会の審議に諮って可決された後に公布

と自画自賛しています。使い方が分からない方は、若い先生に教わってください(笑)。また、先ほどより福島大会の企画書を拝見し、しっかりと準備されておられると思いました。私も応援させていただきたいと思っています。

**行友伸二先生のご挨拶**



「第60回関西地区研修会」開催のご案内をさせていただきました。大分(淡路幼稚園)から参りました。機関紙等でもお知らせしていますが、平成27年6月27日(土曜日)、講座は「劇団かかし座」による影絵の上演です。舞台裏での仕掛けも見せていただけたことと、影絵遊びのやり方なども教えていただけたことになっています。自園で活用していただければと思います。ぜひ参加をお待ちしています。

# 日仏保「関西地区研修会」は

## 6月27日(土) 開催します

### 会場

北御堂(本願寺津村別院) 大ホール  
(大阪市中央区本町4-1-3)  
電話 06-6261-6796

### タイムスケジュール

- 受付 13時〜
- 開会/勤行 14時〜14時30分
- 講座 14時40分〜16時  
(講師・劇団かかし座)
- 閉会式 16時〜16時15分

交通アクセス

- JR「大阪駅」↓ 阪急・阪神「梅田駅」より地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
- JR「新大阪駅」↓ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
- JR「天王寺駅」↓ 近鉄「阿部野橋」駅↓ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車

### お問い合わせ

日本仏教保育協会 大阪支部 事務局  
 仏光幼稚園 岡田 哲明  
 電話 06-6841-1000  
 FAX 06-6841-1001

# ネパール地震による被災者の皆さま、謹んでお見舞い申し上げます。「被災地に義援金50万円を日本赤十字社に寄託」

去る4月25日正午頃、ネパール中部でマグニチュード7.8の巨大地震発生。報道に、3.11の大惨事に遭遇した私たち日本人には、被災地の人たちの驚き、苦しみ、怒り、そして絶望感、味わったものとして痛感します。

死者は発生数日後で3000人を超えると言われ、その後も増え続けているようです。救助活動の困難さにも身が震えます。

す。日本からも、いち早く医療チームなどが駆けつけ診療等に当たっていますが、一カ月余を過ぎた今も余震は続き、住民の不安は極限に近いということですね。屋外での避難生活者は数十万人と言われています。

公益社団法人 日本仏教保育協会(緑谷一雄理事長)では、5月13日の理事会・運営審議委員会開催時の席上で義援金50万円を日赤に寄託する予定でした

が、日赤側のスケジュール調整がかなわず、過日、日赤宛てに送金しました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。併せて、一日も早い復旧・復興を願っています。 合掌

公益社団法人 日本仏教保育協会

理事長 緑谷一雄  
 加盟園一同

ご存知でしたか? 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は...

**迅速かつ安全**に行う必要があります。

△ 感染症有疑いでは、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか? 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全 清潔 簡単 効果的

嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

**解決!** オブツポイポイ

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

高濃度空間殺菌成分により、瞬間に菌を死滅させ、臭気も消滅!

二酸化塩素殺菌剤により、ウイルス・細菌も同時に殺菌し、床も消毒!

セット価格 ¥1,000 (税別) 100g入り 20個入り

東京都目黒区青丘1-1-1 株式会社 共生

東京都目黒区青丘1-1-1 Tel: 03-3965-2711  
 e-mail: jakuetu@kosei.co.jp (受付時間)

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、  
 保育環境の未来を提案する。  
 それが、私たちの仕事です。

**株式会社 ジャクエツ**  
 www.jakuetsu.co.jp



**第 83 回**

# 夏期仏教保育講習会ご案内

主催：公益社団法人日本仏教保育協会 共催：東京仏教保育協会

7月22日  
(水)

- 9:00 受付
- 9:30 「朝のコーラス」  
講師：公益財団法人 全国青少年教化協議会研究員 吉水千草先生
- 9:50 開講式
- 10:20 「仏教保育の話」  
講師：公益社団法人 日本仏教保育協会理事長 緑谷一雄先生
- 10:50 一休 憩一
- 11:00 「仏教から生まれた和の文化ー生活の中の仏教語をめぐってー」  
講師：駒沢女子大学教授 千葉公慈先生
- 12:00 一昼 食一
- 13:00 「でんしゃにのって」ももんちゃんとバルボンさんがやってきた  
講師：絵本作家 とよたかずひこ先生
- 14:20 一休 憩一
- 14:30 「いのちを守る保育に大切なこと」  
講師：ジャーナリスト 猪熊弘子先生
- 16:00 終了・解散

7月23日  
(木)

- 9:00 受付
- 9:10 オリエンテーション
- 9:20 「仏教保育のこころ」  
講師：公益社団法人 日本仏教保育協会 金子聡秀先生
- 10:40 一休 憩一
- 10:50 「子どものこころを聴くということ」  
講師：公益財団 全国青少年教化協議会主幹 神 仁 先生
- 12:10 一昼 食一
- 13:00 「子どもが育ち、育ちあう遊び  
～素朴で豊かな手遊び・わらべうた・おはなし遊びのいろいろ～」  
講師：語り手・児童文化実践講師 近藤千春先生
- 14:20 一休 憩一
- 14:30 「造形活動における“見立て”と“仕立て”の構造」  
講師：鶴見大学短期大学部講師 鮫島良一先生
- 15:50 閉講式

平成27年7月22日「水」  
—  
23日「木」

会場：増上寺大殿 (本堂)

東京都港区芝公園4-7-35  
(電話) 03-3432-1431

保育の世界は大きい変革の時を迎えています。  
変動する保育界にあっても仏教保育の灯は消してはなりません。  
今まで以上に生命尊重の保育実践に努力しなければなりません。  
心の教育について、是非多数の保育者の参加を心からお待ち致しております。  
公益社団法人 日本仏教保育協会理事長 緑谷一雄



### 新制度施行初の子育て会議開催

## 「新制度への周知徹底

## と財源確保が急務」

5月21日、子ども・子育て支援新制度が施行されて初めての「子ども・子育て会議」が開かれ、互選により無藤隆先生（白梅学園大学教授）が会長に就任しました。子ども・子育て本部長を務める有村治子少子化対策担当大臣は、冒頭、「新たに社会養護分野からの委員を選出したこと。ここに代表を送り込めないすべての方々から、子ども・子育て世帯への支援への幅広い観点から議論が求められること」などを強調した上で、今後の制度充実のために1兆円を超える費用が必要。その財源確保に尽力することを誓うと、挨拶されました。

同会議・事務局から、「自治体・事業者・利用者などの関係者に、新制度に関する理解・浸透に努めるとともに施行状況を把握し、点検・評価を行ういつ、必要な対応措置を講じることを

基本的な方針としたい」と、新制度施行に係った取り組みへの方針が提起されました。

秋田喜代美委員（東京大学大学院教育学研究科教授）からは、質の向上に向けた財源が不十分である点を指摘し、そのための保育者養成施設教員の新制度への理解浸透、保育者の「キャリアアラダー（階段を踏んだキャリアアップの仕組み）の検討が課題であると、述べています。

他の各委員からも、認定区分を問わず、園内環境における議論が必要。幼保連携型になった公立幼稚園も多く、同会に保育所型認定こども園の加盟もあつたことを報告し、教育・保育内容の充実も課題だと、述べています。また、各地域での混乱、新制度の周知徹底などを挙げ、いづれにせよ、財源確保を求める意見が多く出された会議となりました。

## “大和言葉”の奥ゆかしさ で豊かな人間関係づくり

近頃、男性も女性も会話がだんだん粗雑になってきたように思います。語彙も乏しく、綺麗な言葉とはほど遠い会話が氾濫しているように思えます。

言葉は人間関係を取り結ぶ唯一の媒体ですし、人と自分を支えてくれる源でもあります。「ことばの乱れは国の乱れ」とまでは言い過ぎかも知れませんが、嘆かわしく思っています。

そんなことを憂いていたころ、ちよつと嬉しいニュースが飛び込んできました。最近、「大

和言葉」が注目されているというのです。奥ゆかしい大和言葉は人との付き合いをなめらかにする潤滑油のようなもの。大いに使いたいものです。大和言葉、つまり日本固有の言葉は日本の風土に生まれ、育まれてきた言葉です。ちよつと考察してみましよう。

お客さまが見えられたとき、『いらつしやいませ』『ようこそお運びくださいました』『よんどころない事情がございまし

て』：如何です？ 大和言葉は音声の一つ一つに古き良さを彷彿とさせる感性が投影されていると思いませんか。

女優の吉永小百合さんは、30年ほど前から広島・長崎の原爆詩の朗読をされていることは知られています。東日本大震災後は、福島詩の朗読を続けておられます。吉永さんの朗読は、悲しみと希望が聴く人の心に沁み込んでいくようです。因みに、福島で来夏開催される「第34回全国仏教保育福島大会」の基調講演をお願いすべくお話を進めているところです。

聴きたいですよ。福島詩の朗読。

## 保育士の人材不足等で、 保育施設のトラブル多発

新制度がスタートして2ヵ月。新制度は歓迎と不信のなかでの幕開けではあったが、制度の柱と言える「認定こども園」は前年の2倍に増える結果となった。親の働き方に関係なく子どもが教育・保育を受けられる施設が広がり、待機児童対策

とでは、一応の成果が上がったようだ。しかし、東京都内や大都市並びにその近郊地域では待機児童は若干の減少にとどまっております。人材なども追いつかず、トラブルも多発しているのが現状のようである。施設側ではベテラン保育士不足に加えて、自治体側の手続きなどの配慮が足

りなかつたことも原因の一つとなつたようである。私立幼稚園にも補助を対象とした受け入れを要請しているものの、人材や保育のノウハウなどの問題もあり、待機児童減少の効果の期待は低いようである。特に、保育の質が不安な認可保育所に保護者はどのように対処すれば良いか困惑は続いている。待機児童の多い地区の自治体は、幼稚園に受け皿を期待してやまないのが実情のようである。



平成27年度「第50回 仏教保育研修会」から

「子どもを預けるとはく 保護者の目線を考える」

去る3月31日、神田寺幼稚園（東京都千代田区）を会場に開催された東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）の「仏教保育研修会」は本紙4月号（No.612）で紹介しましたが、その研修会にご講演いただいた、ジャーナリストであり東京都大学客員准教授・猪熊弘子先生のお話は、その後も反響を呼んでいます。そこで本号では、3月31日にお話いただいた内容（概要）を報告したいと思います。

「教諭と保護者の関わり方」「保護者同士が抱える問題」など、鋭いジャーナリストの目で考察された猪熊先生のお話は、教諭・保育士の先生方にとって大いに参考になると思います。因みに、猪熊弘子先生は当協会「日仏保恒例の「仏教保育夏期研修会」（本号にスケジュール記載）でも、ご講演をいただくことになっていきます。



この会場の正面に飾られている弥勒菩薩様の写真を見て、春は「花まつり」冬は「涅槃会」といった行事を思い出しました。そこで、本題に入る前に簡単に自身の自己紹介をさせていただきます。

私は1965年生まれで、ちょうど50歳です。横浜に住んでいた頃はお寺の中の保育園に通い、栃木県に移ってからは近

くにあった、やはりお寺が運営されている幼稚園に通園しました。幼児期の私は、保育園も幼稚園も仏の教育を受けて育ったのです。そのせいででしょうか、弥勒菩薩様の写真を拝見した瞬間、45年前に聞かされたお釈迦様のお話が忽然と蘇り、仏教教育の深さを感じさせられたのです。社会人になってからの私は、ずっと記者を続けています。4人の子どもにも恵まれました。4人とも0歳から保育園に預けて育ててきましたので、保育園保護者歴15年。保育園の超お局様と言われたくらいです（笑）。そうしたご縁から、朝日新聞

社が発行している『アエラ・ウィズベビー（AERA with Baby）』という育児雑誌の創刊号から編集局長的な立場で制作に当たってきました。昨年引退しましたが、その間、幼稚園や保育園で起こった色々な事故を取材してきました。保護者と園とのトラブルなども多く見ました。そうした事故・トラブルを細かく分析し、それらを防ぐにはどうすれば良いか、ということにも取り組んできました。さて、ここできょうは、子どもを預けるということはどういうことなのか、保護者の目線を考えるというお話をさせていただきます。

だこうと思います。猪熊先生は冒頭にこう述べられてから、配布されたレジュメに添ってお話を進められました。

親はインターネットや通園している子どものお母さんたちなどから色々集め、「ここは？」と思う幼稚園や保育園を見聞にいきます。基本的には「家から近い」というのが大きなポイントにはなりません。決め手の理由の第一は、何よりも「ここなら子どもを預けても大丈夫だろうだ」、つまりは信頼できるかどうかにかかってくる。信頼できるポイントはどこにあるか。私のHPにも書いていますが、お母さんにいつも言っていることは「幼稚園・保育園に直接行って、先生たちの表情を見てね」と。先生たちの表情が輝いているか、元気で躍動感があるか、よく「観る」ようにと。疲れていたり、何となく暗いなど思われるなら考えたほうが良いのでは」と、アドバイスします。親は「ここに預ければ健康的でたくさん成長を私に見せてくれるだろう」と、期待して預けるのですから。

① 親は、どのような気持ちで子どもを預けている？

先生方の仕事で、第一義的なことは「子どもとの関わり」であることは当然です。しかし「保護者との関わり」も大きな仕事です。保育園や幼稚園は子どもにとって初めて関わる社会です。親と子、家族というプライベート社会から公的な社会、つまり世の中に出て行く最初の社会、それが幼稚園であり、保育園です。その社会は親にとっても子どもにとっても最初の場所なのです。ですから、親子、特に子どもにとって良い場所であって欲しい、親は願っています。我が子にとってどんな園が良い場所になるか、そのために、

② 「保護者支援」の意味とその重要性

皆さんは、子育て支援よりも先ず「親支援が大変」ということを聞いたことがあるかも知れません。親も子どもと同じように成長していくことで、子どもが生まれたその時から親



は「0歳」です。親も「赤ちゃん」なのです。ですから、わが子をどうやって育てていいかわからない。当然ですよ。親としては赤ちゃんなんです。先生たちが色々アドバイスしてもなかなか聞いてくれない保護者も中にはいます。しかし、諦めずに手を差し伸べてあげてください。「親育て」というと『上から目線』のように感じるかも知れませんが、決してそうではありません。園の先生と一緒に育ててことも素晴らしいことです。親は変わります。親が変われば、子どもも変わります。そして、先生とも良い関係になります。

③ 保護者は「敵」ではない

「いちばんの「味方」  
保護者はいろいろとクレームをつけてくる、そんな話を耳にすることがあると思います。でも、保護者は煩わしい敵ではありません。良い関係になれば、保護者は一番強い味方になってくれます。先生同士の関係性が良い園は和気あいあいとしながら、テキパキとプロとしての仕事ができる仲間たち、そんな雰囲気があります。そうすると、保護者たちもそういう関係を作っていきます。大人の集団がきちんと育っていくと、不

思議なことに子どもたちも明るい健全な関係になれるのです。反対に、先生たちの関わりがうまくいっていない園ですと、保護者も殺伐となりますし、子ども間での「いじめ」などが起ります。やすい環境になりがちのよう

思議なことに子どもたちも明るい健全な関係になれるのです。反対に、先生たちの関わりがうまくいっていない園ですと、保護者も殺伐となりますし、子ども間での「いじめ」などが起ります。やすい環境になりがちのよう

④ 子育て困難な時代に生きる

現代子育て事情  
「子ども」は社会の迷惑？  
ネット社会が変える子育て  
情報過多と情報弱者  
見えない貧困、非正規労働者の増加、格差の拡大、情報の

紙面の都合ですべては紹介できませんが、先生方にはレジュメからご推察いただけたらと思います。【レジュメより】

貧困

(4) 子育ての「常識」が変化し、世代を超えて共有されない子育て  
(5) 厳しい大人社会、子どもたちに大人社会のしわ寄せがきている？  
(6) 保護者同士が集まっているのが「保護者」  
(7) 親同士のトラブルにどう対処する？ 園の方針と保護者の要求、惑わされない

⑥ 「クレーム」はなぜ生まれる？

「非常時」のために「日常」からの良い関係が必要  
「ポジティブ」な関わり方を心がけよう  
声かけ、ノートに書く言葉など、まずは「ポジティブ」を基本に！

(1) 良い関係性とスムーズなコミュニケーション、トラブルを防ぐ  
(2) 「ポジティブ」な関わり方を心がけよう  
(3) 「満たされない心」がクレームの芽  
その保護者が本当は何を求めているのか？  
一人で抱え込まずに！  
(4) 子どもの命を大切に守る保育・教育を  
(5) 毎日の保育・教育の中の「く

り返し」と「積み重ね」が保育の基本  
「まあ、いいか」と思った瞬間が、命に関わる危険の芽  
(1) 一人では「保育」はできない  
(2) チームでカバーしあう保育を一人ではクリアできない危機も、仲間同士でカバーしあうことができる  
(3) 素晴らしい実践の大前提は「安全」  
(4) 子どもたちの「わくわく」を大切に！  
(5) 保護者は毎日、子どもの成長に気付き、感謝している  
(6) 温かな言葉かけ、当たり前前の行動を大切に！  
(7) 「基本」を大切に  
(8) 保育・教育は子どものかけがえのない人生の第一歩を築く重要な時間  
決して取り戻すことのできない重要な時間に関われる喜びを感じて  
(9) まとめ「永遠の初心者」でいること

⑧ 子どもたちの「わくわく」を大切に！

また、「第83回夏期仏教保育講習会」(4ページに掲載)の第一日目、午後の講座に猪熊先生の「いのちを守る保育に大切なこと」というテーマの講演があります。ご期待ください。

また、「第83回夏期仏教保育講習会」(4ページに掲載)の第一日目、午後の講座に猪熊先生の「いのちを守る保育に大切なこと」というテーマの講演があります。ご期待ください。



<p>日仏保副理事長 長 浦田 裕人 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町22 電話 075・821・0055</p>	<p>月かげ保育園 鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園 長 山崎 和子 〒230-0063 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 電話 045・573・8819</p>	<p>佛敎大学附属幼稚園 長 藤堂 俊英 〒616-8306 京都市右京区嵯峨広西裏町36-1 電話 075・872・5327</p>	<p>光應寺保育園 長 古賀 成磨 〒812-0017 福岡市博多区美野島2-6-31 電話 092・441・9715</p>	<p>学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学 聖徳大学 聖徳大学 短期大学部 理事長・学園長・学長 川並 弘純 〒271-8555 松戸市岩瀬5-5-0 電話 047・365・1111</p>	<p>学・真照寺学園 国谷幼稚園 日仏保参務 名譽園長 栗原 信明 〒321-0211 栃木県下都賀郡壬生町国谷8-40-1 電話 0282・821・2000</p>
---	--	---	---	---	---

### 事務局日誌

- 5 / 8 会計監査会、「仏教保育」「仏カリ」編集会議  
事務局会議
- 5 / 12 「ほとけの子」編集会議
- 5 / 13 「第9回理事会・第7回運営審議委員会」  
増上寺会館「松の間・杉の間」  
編集会議
- 5 / 21 こどものくに「たんぽぽ版」編集会議

## 『幼児期運動指導リーダー』養成！

子どもの健康に警鐘を出し始めて久しいが、真っ直ぐ立てない子、曲がり角でふらつく子、顔から転ぶ子等々、ますます増える子どもの体力の衰えに、各自治体はこれまで以上に健康づくりに力を入れ始めました。

折しも、2020年開催の東京オリンピックに備えて国は選手育成や健康づくりを担うスポーツ庁の創設を決め、10月1日にスタートすることになりました。組織としては、文部科学省の管轄ということになりますが、スポーツ産業に関わる経済産業省、施設を整える国土交通省、国民の健康作りにつながる厚生労働省などから人材を確保し、「オリンピック・パラリンピック課」など五つの課を設けるということで、国民の注目を集めています。

それに呼応するかのように自治体でも体力調査を進めるとともに、指導者の養成に取り組み始めました。特に、幼児は年齢によって発達が異なるので年齢に応じた指導が必要だとして、幼児期運動指導リーダーを養成するための研修会なども実施し始めています。

幼児期での正しい運動は成長期の基礎ともなるだけに、身のこなしなど楽しい遊びを通して体得できるように指導されるということですね。期待できそうですね。

## 編集後記

■「薫風」の季語を使うこともないまま夏日の多い5月は去り、6月上旬には梅雨入り宣言。3月には御嶽山が噴火し、5月の末には口永良部島の新岳が噴煙を上げました。ネパールの地震、小笠原の地震、地球は今、荒れ狂っているようです。「注意してください」と避難・退去の報が出されても、動きのままならぬ自由な人に思いを致すと、身を切られる痛みを感じます。ただひたすらに、無事を祈るしかない我が身を「如何に徒やせん」の心境です。■そんな6月ですが、16日は「和菓子の日」。和菓子を楽しみ、新茶で心を癒してはどうでしょう。全国和菓子協会が1979年に制定した記念日だそうです。平安期の承和年間、国内に疫病が蔓延。時の仁明天皇は年号を嘉祥と改め、その元年（848年）の6月16日に16個の菓子や餅を神前に供えて疫病よけと健康招福を祈ったことが由来とか。以来、お菓子を食べる「嘉祥菓子」の習俗は形を変えながらも平安期から江戸時代を経て近世まで延々と繋がってきたそうです。■今、幼児を対象とした「お茶育」が静かなブームを起こしつつあるそう。堅苦しい茶道とは一味違う作法？で、お茶やお菓子で季節を知り、楽しく仲間と語らいながら人間関係作りにも役立つとのこと。（O・I）

公益社団法人 日本仏教保育協会  
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4  
ホームページ <http://www.buppo.com/>  
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519  
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満  
毎月1回1日発行(1部315円)



### 仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

## 紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600)※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文  
お問い合わせ  
すずき出版